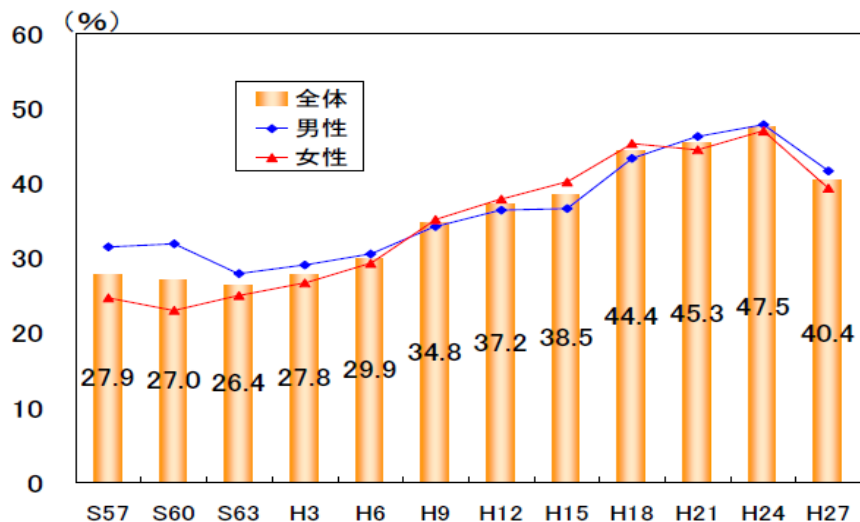


大人の運動機会や子どもの体力の現状

運動実施率の低下(データ)

成人の週1回以上スポーツ実施率の推移



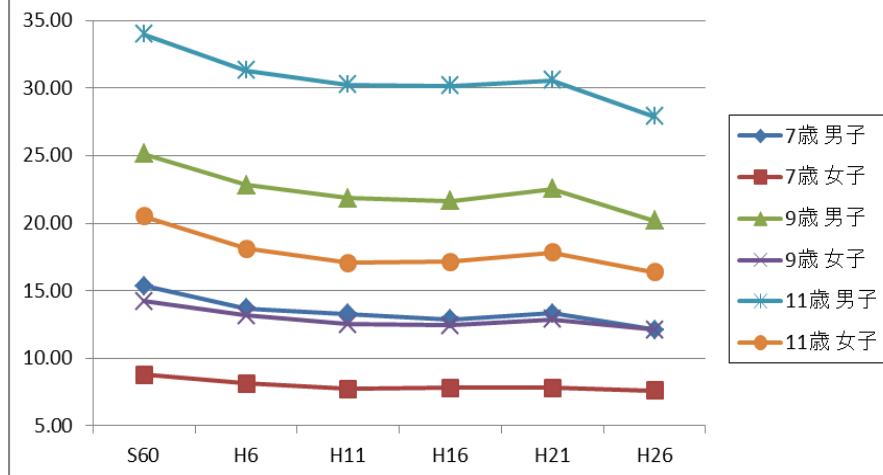
「体力・スポーツに関する世論調査」
 (昭和57～平成21年度 内閣府実施、平成24年度 文部科学省実施)
 及び「東京オリンピック・パラリンピックに関する世論調査」
 (平成27年6月 内閣府実施)に基づく文部科学省推計

○成人のスポーツ実施率(週1回以上)は、昭和63年度以降、これまで緩やかに上昇傾向であったが、平成27年度調査で減少。

○特に、学生から社会人となる20歳代や仕事・子育てで忙しくなる30歳代のスポーツ実施率が、他の世代と比べて低い。

子どもの体力(データ)

ソフトボール投げの記録の推移



(出典) スポーツ庁「体力・運動能力調査報告書」

○持久走、立ち幅とび、上体起こし、50m走など多くの種目では概ね横ばいまたは向上傾向。

○一方、小中学校の男女ともに、握力及びソフトボール投げは、平成27年度の調査開始以降最低値になるなど、低下傾向を示している。

親子や友達でボール遊びをしよう!

場所がない！

子どもたちは・・・

ボール遊びが
禁止されていて
かなしい

ボール遊びを
していたら
怒られた

でも地域には色々な意見が・・・

危ない！

事故があったら
責任は・・・

家に飛んでくる
んじゃないか

苦情が来るかも
しれない・・・

まちの中にボール遊びができる場所を増やそう！

ボール遊び場の取組①

子どもの遊び場条例の制定 (千代田区)

○子どもの遊び場に関する基本条例 (H25)

(区立公園等で、利用状況を勘案しながら運用方法を工夫することにより、子どもが可能な限り自由に遊べるよう配慮)

○子どもの遊び場事業(H25～)

- ・区内5か所の公園や学校
- ・週1, 2回、各2時間程度
- ・プレーリーダーの配置
- ・道具の貸し出し



計画的な空間整備(武蔵野市)

○公園緑地リニューアル計画(H22)

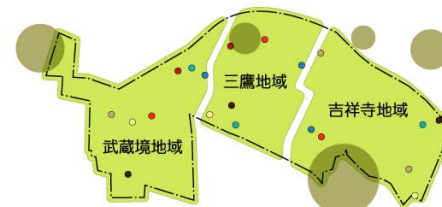
- ・市民との対話を通じ、公園ごとに機能を特化した公園のリニューアル。
- ・ボール遊びの機能を各駅圏に1つずつ整備

○都市公園のリニューアル(H26)

- ・全面をネットで覆ったボール遊びのできる空間を整備(本田東公園)
- ・平日午前中は未就学児や高齢者、土日・夏休みは子供を優先。ボランティア団体創設。

3 駅圏レベル

水遊び・ボール遊び・
大規模遊具・防災広場 など



- 緑
- 親水
- 広場
- 防災
- 子ども遊び
- ボール遊び
- 庭園風



ボール遊び場の取組②

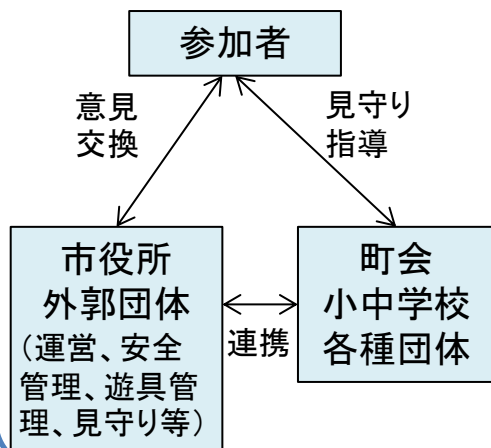
試行的解禁による検証(船橋市)

○ボール遊びのできる公園検討委員会 (H27)

(公園で自由にボール遊びができる方法を検討するため、有識者や市民代表による検討を全5回実施)

○ボール遊びのできる公園の試行 (H28)

- ・市内5か所の公園
- ・平成28年9月～11月、週1、2回、各2時間程度
- ・見守り役の配置、アンケートの実施
- ・ルールや遊びの内容について検証



プロ野球の取組

○キャッチボールプロジェクト(H17～)

- ・日本プロ野球選手会主体
- ・安全なキャッチボール専用球の開発
- ・キャッチボールイベントの開催

○首都圏5球団共同事業 公園キャッチボールプロジェクト(H27～)

- ・首都圏の5球団(巨人、ヤクルト、横浜、西武、ロッテ)主催
- ・平成27年1月～
- ・各チームによるイベント実施(善福寺公園等)
- ・専用球やグローブの常時貸し出し(昭和記念公園)



キャッチボールイベント(浜名湖ガーデンパーク)
提供: 日本プロ野球選手会

どうやったらボール遊び場を増やせる？

まちの中にボール遊びができる場所を増やそう！

実際の取組を見てみると・・・

- 空間・時間を決める(ネット設置、利用時間設定等)
- ルールを決める(柔らかいボールの使用、他者への配慮等)
- 安全を担う(ボランティア、プレーリーダー等)
- 地域を巻き込む(苦情を言われないように)

**地域の大人が協力すれば、
きっとボール遊びの場所は増やせる！**